

宮崎県中小企業大賞 受賞記念



平成27年度宮崎中小企業大賞表彰 知事表彰式
平成27年10月7日(水)県庁知事室

平成27年10月7日(水) 東京知事室

表彰項目:「オンリーワンの視点」

～オンラインの製品や技術により産業を支えている企業～



本 社

宮崎市佐土原町東上那珂字石塚17880-45

TEL:0985-30-5801 / FAX:0985-30-5805

東京事業所

東京都中央区日本橋茅場町2丁目12-3 寿ビル4階

-6661-7358 / FAX:03-666

オンリーワン企業へ 祝 創立30周年

祝 創立30周年

河野俊嗣

宮崎県知事

よつて、コストや製作日数と
いつた面でお客様に大きく貢献
できていると思つています。

河 なるほど！アルミ材での
簡易金型は、創業当時から御社
の強みとしていたのですか？

鮫 そうではありませんでした。
創業当時は、業界全体で電子関
係が力をつけていたため、我々
も電子関係の部品製造に尽力し
ていました。以前、私が勤めてい
た地元の自動車部品メーカーに
今もお世話になつているのです
が、そちらの東京の研究所で技
術の勉強をさせてもらつた時に、
3Dデータを用いた製造手法が
新しく入つてきました。その時

に、「これから時代は3Dデータの時代に変わっていくのではないか」と感じ、そこからデータを製造にどう生かすのを考え、今の形になつたと田中です。

河 具体的には3Dのデータを作りながら始められたのですか？

鮫 まず光造形のデータ作り始めました。しかし、こわれCAD等を用いて図面のデータを作るにすぎませんから、そのまま成り立たせることは厳しく考えました。そこで、光造形データを使い、試作から成型までのモノづくりに至るところ

河 株式会社テクノマートは昭和61年創業の地元企業ですが、平成18年7月に県の立地企業として、ここ「宮崎テクノリサーチパーク」に進出されました。金型技術を基盤とした、大変珍しい事業形態と伺っておりますが、御社の業務内容について教えていただけますか？

鮫 製造分野に関して、弊社は、どの分野においても、細かな依頼主が研究開発した試作品の製造などを行っています。現状は、研究開発には大変な費用がかかるので、依頼主さんには、研究開発には大変な費用がありますので、依頼主さんには、来る限り、負担の少ない値段で

河野知事(以下・河) 本事業に申し込んでいただけ
ありがとうございます。この事業は、県が認定した立地企業の
魅力を発信することを目的としているので、これから御社についてのお話をお聞かせいただけたらと思います。

鮫島(以下・鮫) こちらこそ、わざわざご足労い
ただき、ありがとうございます。

河 事前にパンフレットを拝
看了際には、卓越した技術で
ストダウンや時間短縮を測
べる部門です。

金型製造を行っている企業が
思つてはいましたが、製造だけ
なく検品や在庫管理などを通

県が認定した立地企業の認知度向上や人材確保が図られるよう、知事が立地企業を訪問して企業の魅力発信を支援する、「立地企業の魅力発信事業」。

このたび弊社が受賞した『宮崎県中小企業大賞』の『オンラインの視点部門』の表彰式を翌日に控えた10月6日に、河野俊嗣宮崎県知事と社長の鮫島が対談を行いました。

モノづくりと言つても、弊社は試作から成型までを一貫して行うので、量産メーカーとは違う少ないとすることは、デメリットであるかもしれません、多品種を製造できるというメリットでもあります。現在、100を超えるメーカーさんとお付き合いをさせていただいておりますが、それも、小ロットにこだわり続け技術を磨いてきたからだと思います。

河 先ほど、管理・検品などを行う物流部門もあるとおっしゃいましたが、どのような業務をしているのですか？

鮫 製造メーカーが海外の工場で生産した部品などを、弊社の倉庫にて管理・検品し、国内の工場に代行納入しています。

河 メーカーが御社に在庫管理を依頼するメリットはどのようなものがあるのですか？

一般的な金型作成は、お客様にとつて費用負担が大きくなっています。だからこそ、弊社は小ロットの簡易金型の設計を行い、費用の面でお客様の負担を減らしました。

また、医療機器は医療従事者の使い勝手のいいように改良を重ねる必要があります。弊社の簡易金型の材質は鋼材ではなく高強度のアルミ材を使つています。

河 他社の試作品を作るといふことが珍しいと思います。例えば、どのような試作品を製造しているのですか？

鮫 医療機器や自動車部品が大きいですね。次世代向けの新しい機能を備えた製品開発が進んでいて、それらの研究開発を金型作成という形でお手伝いしています。

A photograph showing two men in white lab coats and glasses examining a large, rectangular white container on a table. The man on the left has his hands on his hips and is looking down at the container. The man on the right is leaning over it, also looking down. In the background, there are other people and a green wall with some posters or charts.

河 小ロットでの製造であることを高い技術を使って上手に活用し、その上で他社の業務を支援していることがわかりました。それでは、実際に技術を用いた人材の確保はどのような状況でしょうか?

鮫 技術は新しく入ってくるものが多いので、なかなかすぐにはノウハウを熟知した人材を見つけることはできません。だからこそ、メイカーサンと一緒に技術を勉強することもありました。現在では、3Dデータを扱うためのノウハウを持つている一人ターン・Uターンで帰つてくる人たちが増え始めているので助かっています。また、ベテランに若者をつけるようにして、これまで培つた技術が継承されようとしています。

河 3Dデータというと、3Dプリンターなどが参入していくそ

The logo consists of two parts. The top part is a blue square containing the character '鮫' (Gosha) in white. The bottom part is a yellow square containing the character '島' (shima) in black. The characters are written in a bold, rounded font.